



# 屋上緑化用『スナゴケ』の高速人工培養技術

■株式会社ヴァロール

■生命環境科学研究科

教授

村瀬 治比古

## ◆『コケのチカラ』が都市の砂漠化を救う。

食糧生産や生態系に深刻な影響を及ぼしている地球温暖化。私たちの明日の地球のためにできること、少しでも緑豊かな環境を取り戻すこと、すなわち『緑化』です。特に、屋上・壁面緑化は、ヒートアイランド現象の緩和するだけでなく、建造物の保全、省エネ効果にも期待ができます。しかし、残念ながら、維持管理のための手間やコスト、建造物の積載荷重等が課題となっております。そこで、非常に厳しい環境下にも順応し、逞しい生命力を誇る『スナゴケ』に着目しました。軽量かつ維持管理不要のコケ緑化は、地球温暖化の切り札です。



## ◆高速人工培養技術で安定供給

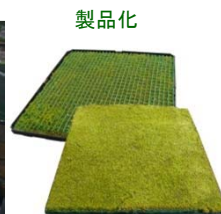


自然栽培

植物工場生産

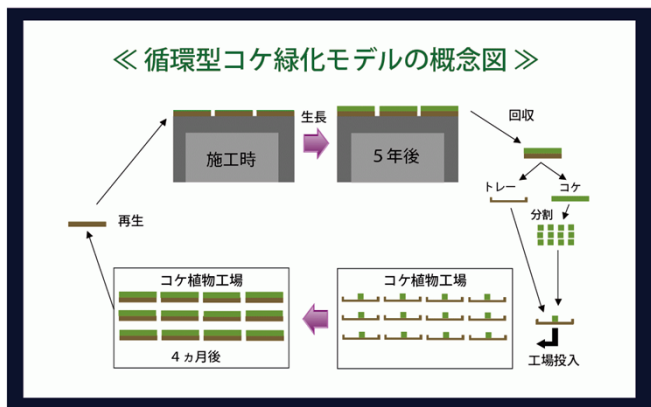
緑化植物としてのコケは、大変魅力的ですが、自然環境下での成長は極めて緩やかです。屋上のような過酷環境に耐えうるには、2~3年を要します。また、大規模圃場の確保や、生育ムラ、品質も不安定と、需要を喚起することすら出来ません。そこで、農業技術とバイオテクノロジーを融合し、コケの高速培養システムを確立しました。

育成期間も6カ月に短縮を可能にしました。



製品化

## ◆緑化もリサイクルの時代へ



将来的には、コケの植物生理を活かし、循環モデル構想を検討しています。屋上緑化し、数年経て成長したコケを親種とし、再び植物工場にて育苗。

さらなるニーズに応え、緑化の環を広げていきたいと願ってます。



大阪府立大学 産学官連携機構 リエゾンオフィス

TEL: 072-254-9872

FAX: 072-254-9874

E-mail: ipbc@iao.osakafu-u.ac.jp